

威風堂々プロジェクト2020・実施記録（第4回）

1. 実施日：2020年2月29日（土）13：30～15：30

2. 場 所：伊都キャンパス 図書館

3. 参加者

応援団O B 吉川 正、羽田野袈裟義

4 回生 池内明伸、那須龍太郎、山内勇人、
長砂まりも

3 回生 津田健吾、中島颯也

2 回生 今村竜平、川口潤一郎、小出尚寛、佐々木晟、
鐵矢竜太、柏木海翔



4. 配付資料

「大学応援団という空間とその身体」（参考文献）

5. 「大学応援団という空間とその身体」について（2回目）

- 1) 前回に引きつづいて、資料後半部分をみんなで輪読した。
- 2) 九大応援団のアイデンティティを理解する上で役立つ。
- 3) 応援団には試合の勝つための“神通力（運、ゲン）”が期待される。
- 4) 神聖な儀礼空間を維持・安定させるために、団長、団旗、演舞などが存在する。

6. 演舞の感想について

- 1) 2/15（土）九州応援ネットワーク合同演武会が開催された。
- 2) その後のコンパで、幹部からOBに、演舞についての感想を求められた。
- 3) 九演会のビデオを見ながら、吉川、羽田野が感想を披露した。
- 4) 基本事項として、演舞には“動と静”、“剛と柔”が求められる。
- 5) 昔は“艶（つや）～に”と表現したものである。
- 6) 現在の九大は、一般的に“速すぎる”傾向がある。
- 7) それぞれの演舞には“テーマ”があり、これを理解し表現することが求められる。
- 8) たとえば、「博多どんたく」では“軽ろやかさやおかしみ”がテーマだと思う。
- 9) 「元寇」のテーマは何かと聞かれて、先輩は答えられなかった。
- 10) 「応援小唄」について、羽田野先輩は演舞指導する用意がある。
- 11) 今後OB達は、批評はしない。

7. 「威風堂々プロジェクト」の終了について

- 1) 新型コロナウイルスの感染防止対策で、外部を交えた集会在禁止された。
- 2) “OBが加わって新歓を準備する”という目的を達成したと判断する。
- 3) このプロジェクトは、今回をもって完全に終了する。14年の永きにわたった。
- 4) また、雄渾会の事務局を現役側に移管する。
- 5) なお、OB活動は従来通りと考えてもらってよい。
- 6) 自立した応援団の、“新たな躍進”にエールを送る。

以上